

THE SUPERIOR



前号で、27フィートのサイズながらも鋭い走りを披露した「TARGA」。そのフラッグシップである「44」が、FINNBOATの会場にあった。しかもアフトデッキからキャビンにアクセスできるように新開発された「44 AftDoor」の1号艇である。今回のショーの最大艇、44フィートの堂々たる体躯は日本の海にもベストマッチと感じられる。しかも元となった「44」は2009年のストックホルムでアワードを獲得した名艇。いやが上にも期待は高まる！

special thanks: Botnia Marin
www.targa.fi



TARGA 44 AftDoor



IPS600 を得た北欧ワークボートの雄 「ボートとはかくあるべき」の一艇!

「44 AftDoor」は、アフトデッキから直接キャビンに入れるようにスライドドアとしたモデル。一見ごく普通のことに感じられるが、厳寒の海に対し最小かつ最も効率的な開口部として、伝統的にサイドスライドドアを採用してきた北欧のワークボートにとっては、キャビン全体の変更に繋がる画期的な大改造だ。ドライブレインも、伝統的なスターンドライブに加え、2007年からボルボペンタ IPS が選択肢に加わった。目の前の「44 AftDoor」は IPS600。今回のショー唯一の IPS モデルである。

新設されたアフトドアから中へ。ダークブラウンの木に囲まれた重厚な空間が広がる。入ったすぐの左側はナイトスペースへのダウンステップ。右舷にギャレー、左舷には一段上がったダイ

ネットがある。ソファ素材はすべてアルカンターラ。正面右のヘルムステーションはダンパー付きのシングルシートが奢られ、フロントとサイドウィンドウには防眩用のロールスクリーンフィルターまで装備される。ナイトスペースは豪華な3バース+2ヘッドで、6名が快適に夜を過ごすことができる。

バキュームインフュージョン製法のハルに乗せられたボルボペンタ IPS600 に火が入る。スロットルを押し込むと、重厚な加速感とともにスピードが伸びる。風が強く、1mほどのうねりに白波が飛ぶラフコンディション。

その海象をものともせず、「44 AftDoor」は波を割り、飛沫をさばく。転舵を試みる。IPSながらクイックさは感じさせず、落ち着いた挙動。そしてこの海象が嘘のように船は安定している。これが「TARGA」のフラッグシップ! 「TARGA 44 AftDoor」、日本の海への導入が待ち遠しい一艇だ。 **P.B.**

アフトデッキの下にボルボペンタ IPS600 が収まる。ミドルサイズで、スターンドライブが基本の北欧ワークボートにあっては珍しい。44フィートだからこの選択肢と言える。エンジンは完全にキャビンの外で、キャビンは騒音も振動も少ない。フライブリッジは必要最小限に留められ、無用な重量増も避けられている。





SPECIFICATIONS . . . TARGA 44 AftDoor

全長 14.36 m
 全幅 3.95 m
 喫水 1.10 m
 重量 10.5 ton
 燃料タンク 1,500 L
 清水タンク 350 L
 エンジン 2 x VOLVO PENTA IPS 600
 最高出力 2 x 435 HP
 スピード Max 38 kt
 問い合わせ先 ウィンクレル
 TEL: 045-250-0377
<http://www.wslc.co.jp/yacht/>



まさにクラシックスタイルのお手本のような重厚感あふれるキャビン。ヘルムシートはダンパー付きで、防眩スクリーンも装備。ロングクルーズ時の疲労をグッと軽減してくれる。